

第2章 高齢者を取り巻く現状

1 人口の推移

本市の総人口は、今後、ほぼ横ばいで推移する見込みです。高齢者数は、増加基調で推移し、2025年には42,205人、高齢化率は21.8%となる見込みです。特に、2018（平成30）年以降は、後期高齢者数が大幅に増加する見通しです。

高齢化率を国・愛知県と比較すると、2025年時点で国から8.2ポイント、愛知県から4.7ポイント下回っていますが、今後は後期高齢者が顕著に増加しますので在宅医療、在宅介護が一層重要となります。

図表 2-1 人口の推移 (人)

区分	2005年 (平成17) -実績-	2010年 (平成22) -実績-	2015年 (平成27) -実績-	2017年 (平成29) -実績-	2020年 -推計-	2025年 -推計-
全年齢	171,811	180,751	185,615	187,860	190,211	193,201
高齢者	23,716	29,305	36,263	38,181	40,132	42,205
前期高齢者	14,118	16,649	20,512	20,793	20,712	17,906
後期高齢者	9,598	12,656	15,751	17,388	19,420	24,299

資料：2005（平成17）～2017（平成29）年は安城市「住民基本台帳」（各年10月1日現在）
2020年以降は本計画の推計値（各年10月1日現在）

図表 2-2 高齢化率の推移 (%)

区分	2005年 (平成17) -実績-	2010年 (平成22) -実績-	2015年 (平成27) -実績-	2017年 (平成29) -実績-	2020年 -推計-	2025年 -推計-
安城市	13.8	16.2	19.5	20.3	21.1	21.8
国	20.0	23.0	26.6	27.7	28.9	30.0
愛知県	17.3	20.4	23.8	24.3	25.7	26.5

資料：2005（平成17）～2017（平成29）年は安城市「住民基本台帳」（各年10月1日現在）
2005（平成17）～2015（平成27）年の国・県は、総務省統計局「国勢調査」
2017（平成29）年は国が総務省統計局「人口推計」（概算値）、県が「あいちの人口」（各年10月1日現在）
2020年以降は、安城市が本計画の推計値、国・県が国立社会保障・人口問題研究所による推計値（各年10月1日現在）

2 地区別の高齢化の状況

平成29年の市内の中学校区ごとの高齢化の状況をみると、明祥中学校区（24.2%）、桜井中学校区（23.1%）において高い高齢化率となっています。一方、篠目中学校区では16.6%と、他の中学校区より低くなっています。

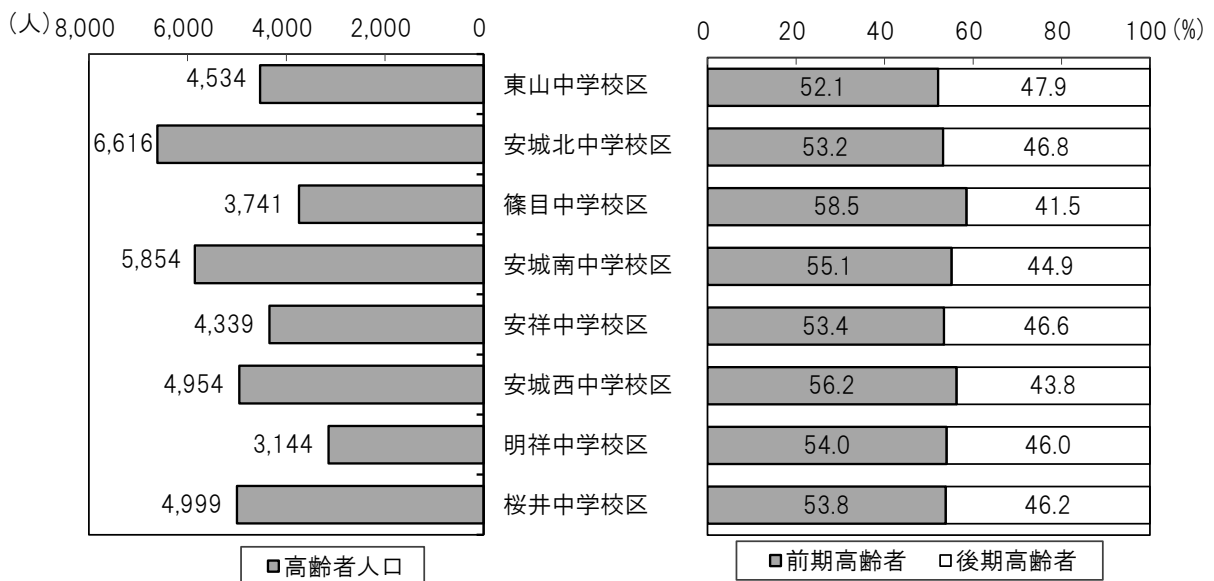
また、前期高齢者と後期高齢者の割合をみると、篠目中学校区で、前期高齢者の割合が他の中学校区より高くなっています。

図表 2-3 中学校区別の高齢化率（策定年度の比較）

校区別	総人口（人）		高齢者人口（人）		高齢化率（%）	
	平成26年	平成29年	平成26年	平成29年	平成26年	平成29年
東山中学校区	24,099	24,655	4,247	4,534	17.6	18.4
安城北中学校区	30,001	30,240	6,053	6,616	20.2	21.9
篠目中学校区	22,173	22,541	3,361	3,741	15.2	16.6
安城南中学校区	30,621	30,860	5,351	5,854	17.5	19.0
安祥中学校区	19,303	19,662	3,942	4,339	20.4	22.1
安城西中学校区	25,122	25,310	4,525	4,954	18.0	19.6
明祥中学校区	12,535	12,981	2,839	3,144	22.6	24.2
桜井中学校区	20,926	21,611	4,586	4,999	21.9	23.1
計	184,780	187,860	34,904	38,181	18.9	20.3

資料：安城市「住民基本台帳」（各年10月1日現在）

図表 2-4 中学校区別の高齢者数



資料：安城市「住民基本台帳」（平成29年10月1日現在）

備考：前期高齢者人口：65～74歳人口、後期高齢者人口：75歳以上人口

3 世帯の状況

本市の総世帯数は平成 29 年で 74,090 世帯、高齢者のいる世帯数は 25,760 世帯となっています。総世帯数に占める高齢者のいる世帯数の割合は平成 29 年で 34.8%と、平成 26 年と比較すると増加しています。その高齢者のいる世帯数の中でも、高齢者単身世帯、高齢者のみの世帯の割合が増加しています。

平成 27 年の国勢調査によると、本市の総世帯数に占める高齢者のいる世帯数の割合は 33.1%で、国と比べて 7.6 ポイント、愛知県と比べて 4.2 ポイント低くなっています。また、高齢者単身世帯の割合も、国・愛知県と比べて低くなっています。

図表 2-5 世帯構成の推移

区分	世帯数 (世帯)		割合 (%)	
	平成 26 年	平成 29 年	平成 26 年	平成 29 年
総世帯数	71,458	74,090		
高齢者のいる世帯数	23,938	25,760	33.5	34.8
高齢者単身世帯	5,632	6,544	7.9	8.8
高齢者のみの世帯	5,252	6,378	7.3	8.6
夫婦のみ	5,114	5,927	7.2	8.0
夫婦以外	138	451	0.2	0.6
その他の高齢者世帯	13,054	12,838	18.3	17.3

資料：安城市「住民基本台帳」(各年 10 月 1 日現在)

図表 2-6 国・愛知県との比較

区分	割合 (%)		
	安城市	国	愛知県
高齢者のいる世帯	33.1	40.7	37.3
高齢者単身世帯	9.3	12.0	11.3
夫婦のみの世帯	6.4	11.1	9.2

資料：総務省統計局「国勢調査」(平成 27 年)

4 住居の状況

住居の状況については、「持家（一戸建て）」の割合が高齢者で79.9%、認定者（在宅）で77.2%と、要介護認定の有無に関わらず大半を占めています。

図表 2-7 住居の状況 (%)

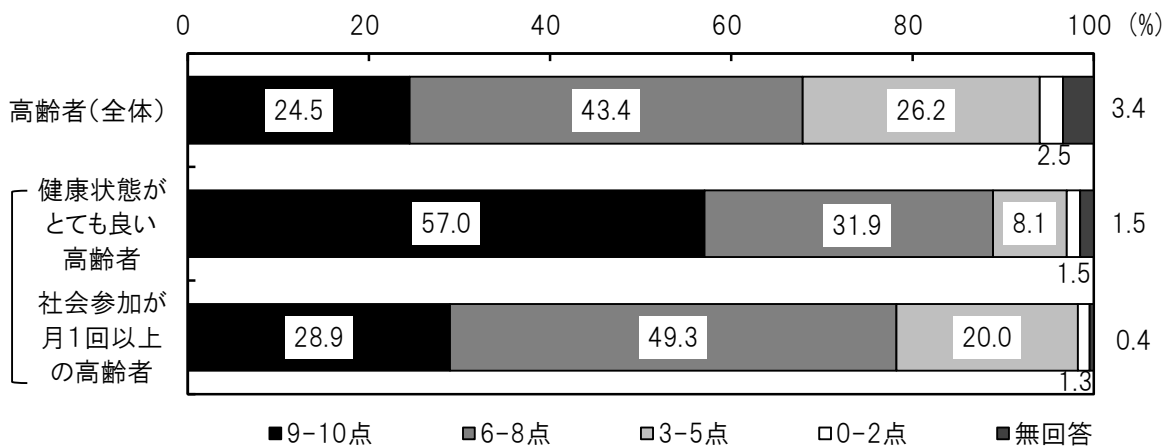
区分	高齢者	認定者(在宅)
持家（一戸建て）	79.9	77.2
持家（集合住宅）	7.6	6.2
公営賃貸住宅	4.1	5.0
民間賃貸住宅	4.7	5.9
その他	2.6	3.2
無回答	1.1	2.5

資料：「安城市高齢者等実態調査報告書」（平成28年度）

5 生活の状況

現在の幸福感について、10を最高として点数を尋ねたところ、高齢者の平均は7.0点で「9-10点」「6-8点」の合計は約67.9%となっています。健康状態がよい人ほど幸福感が高く、社会参加をしている人も幸福感が高くなる傾向がみられます。

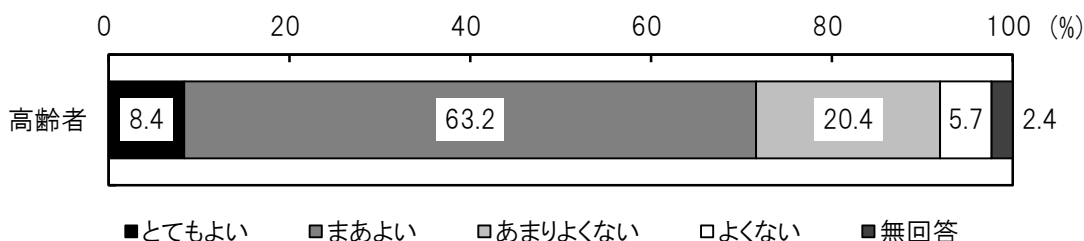
図表 2-8 現在の幸福感



資料：「安城市高齢者等実態調査報告書」（平成28年度）

健康状態について、「とてもよい」「まあよい」と回答する高齢者は71.6%です。

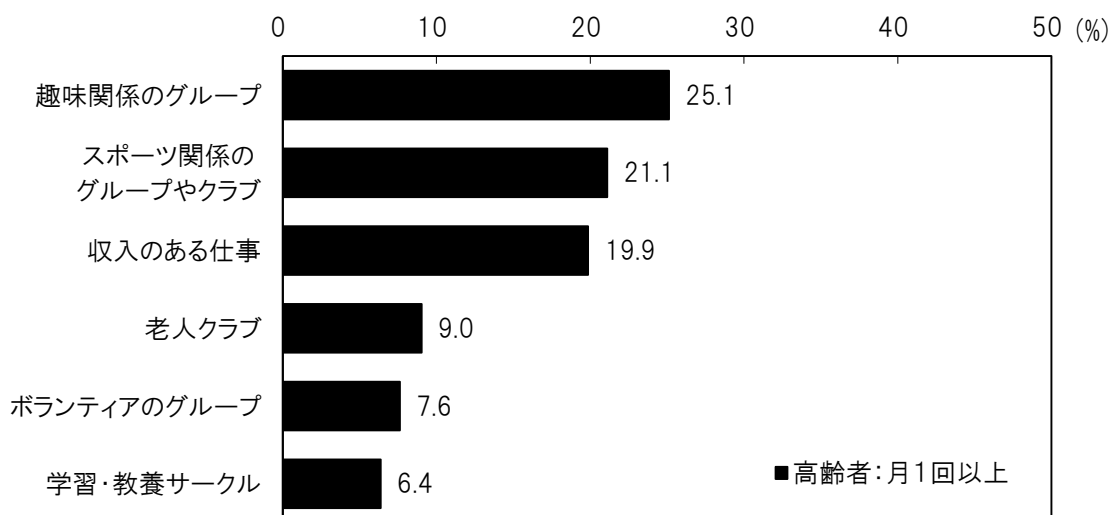
図表 2-9 現在の健康状態



資料：「安城市高齢者等実態調査報告書」（平成28年度）

余暇活動・社会活動の参加状況について、「趣味関係のグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「収入のある仕事」などへの参加がみられます。

図表 2-10 余暇活動・社会活動の参加状況



資料：「安城市高齢者等実態調査報告書」（平成28年度）

高齢者の就業状況を見ると、65歳以上人口の就業率は24.5%となっています。男性は31.8%、女性は18.3%で、65～69歳（全体）は40.4%で他の年齢と比べて高くなっています。

図表 2-11 就業率 (%)

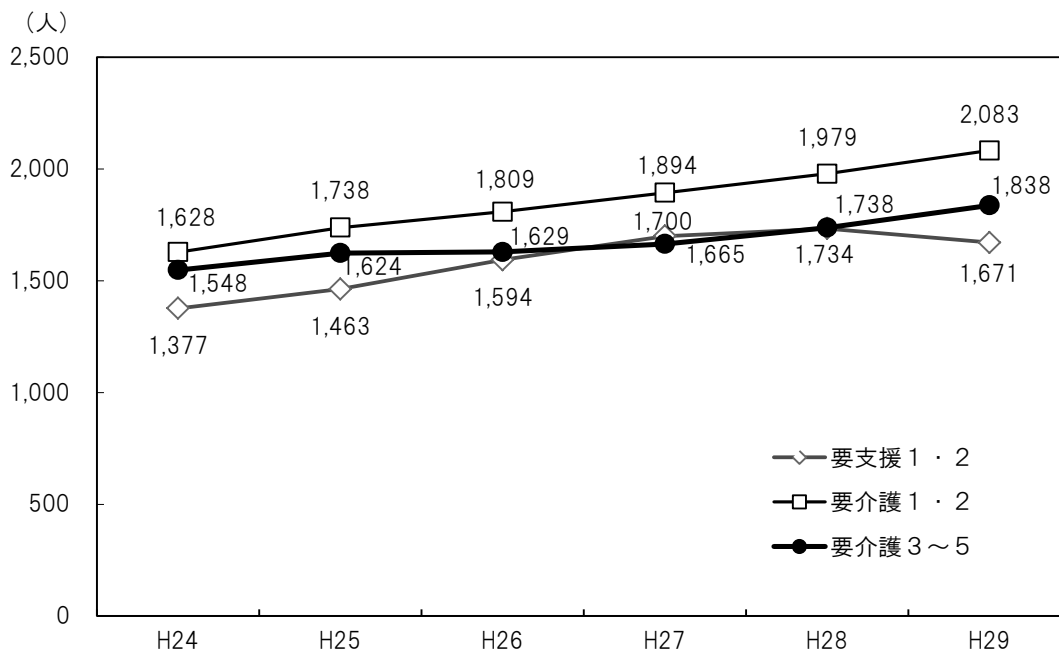
区分	高齢者計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体	24.5	40.4	27.2	16.9	9.5	4.3
男性	31.8	48.9	33.0	21.9	13.0	7.2
女性	18.3	32.0	21.8	12.5	7.1	3.0

資料：総務省統計局「国勢調査」（平成27年）

6 要介護認定者の状況

平成29年の要介護認定者数は5,592人で、平成24年と比べると、22.8%（1,039人）増となっています。要介護度別にみると、平成28年から29年にかけて、要支援1・2は減少しています。

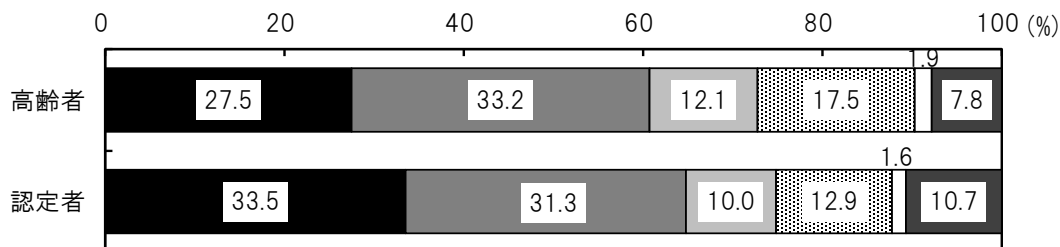
図表 2-1 2 要介護別認定者数の推移



資料：「介護保険事業状況報告」（各年10月1日現在）

介護を受けたい場所として、「自宅で家族介護」「自宅で介護サービス等を活用」を合わせると、自宅の希望が高齢者、認定者ともに60%を超えています。

図表 2-1 3 介護を受けたい場所

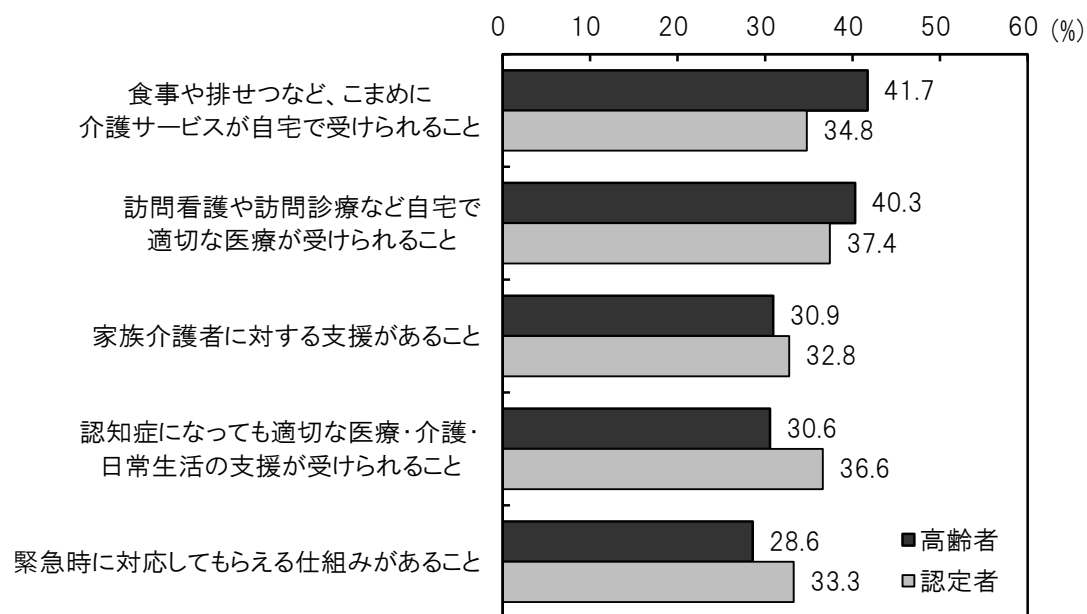


- 自宅で家族などを中心に介護してほしい
- ▣ 自宅で介護保険サービスや生活支援サービスを活用しながら介護してほしい
- 高齢者向けの住宅で介護保険サービスや生活支援サービスを活用しながら介護してほしい
- ▤ 特別養護老人ホームや病院などに入所(入院)したい
- その他
- 無回答

資料：「安城市高齢者等実態調査報告書」（平成28年度）

自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために重要なこととして、「こまめな介護サービス」「在宅医療」「家族介護者への支援」「認知症の人への支援」「緊急時の対応」について多くの人が回答しています。

図表 2-1 4 自宅や地域で暮らし続けるために重要なこと（上位5項目）



資料：「安城市高齢者等実態調査報告書」（平成 28 年度）